

今連盟だより

第26号

平成22年3月1日

題字 故 綾部 義彦 氏
(静岡県家庭婦人バレー連盟 第4代 会長)

発行 静岡県家庭婦人バレー連盟事務所 〒436-0221 掛川市上垂木1061-1

第40回記念 全国ママさんバレー連盟大会 特集号

気持ちよくバレーを

会長 渥美 みつ

全日本男子・グランドチャンピオン大会で銅メダル！三十二年ぶりのメダル獲得、素晴らしいですね。低迷を続ける日本バレー界へ一筋の光明が灯った大会のように思います。今後の益々の活躍を祈ります。

我が静岡県家婦連も連盟創立以来、三十六年の時が流れました。連盟が充実し、ここまで来られたのも県協会をはじめ、諸先輩方、関係各社の皆様のご尽力のお陰と心より感謝申し上げます。

平成二十一年度は昨年のLAWSON CUPに続き、高円宮妃久子殿下をお迎えして全国ママさんバレー連盟大会を開催し、大盛会でした。各チームのみなさんは大変ご協力を頂き、本当にありがとうございました。

県代表のプリオールがA組優勝、静岡フェニックスがC組準優勝となり静岡県の名を更に高める活躍をしてくれました。

ここにその健闘を讃えます。

県内の大会では三十三年もの変わらぬご支援を頂くコカ・コーラカップをはじめ、新しく冠名を頂いたエーエフシーカップ、その他の行事も滞りなく消化されました。チームの皆さんと関係の皆様方のご支援の賜物と御礼を申し上げます。

シニアの部登録数が六十七チームを超え、一般の部登録数に迫る勢いであることは、いくつになってもバレーを楽しむことを目的としている家婦連にとって大変嬉しいことです。運営の方法やチーム

作りの方針等、いろいろと考えなければならぬことが多いりました。皆さんのお考観を頂きながら、よりよい方向に向かっていきたいと思います。どうぞご意見をお寄せ下さい。

みんなで気持ちよくバレーを楽しみましょう。

作りの方針等、いろいろと考えなければならぬことが多いました。皆さんのお考観を頂きながら、よりよい方向に向かっていきたいと思います。どうぞご意見をお寄せ下さい。

これは皆さんのが、心をひとつにして、より良い連盟作りを目指してきた結果だと思います。明るく、楽しい連盟がこれからもずっと続きますよう願つてやみません。

平成二十年三月の第三回LAWSON CUP全国大会に続き、二十一年八月に第四十回記念全国ママさんバレー連盟大会を開催出来ましたことは、連盟にとりまして誇りであり、財産と成りました。まさに役員、チームの皆さんのが、ひとつになつてできた快挙だと思います。バレーを通じて、つなぎ合い、助け合う気持ちこそ大切なのだと思います。

先日、掛川市で市民舞台芸能祭があり、



心ひとつに

理事長

戸塚美代子

二十一年度の事業、大会が無事終了出来ましたことは、関係各位のご支援ご協力によるものと深く感謝申し上げます。



二十一年度の事業、大会が無事終了出来ましたことは、関係各位のご支援ご協力によるものと深く感謝申し上げます。

静岡県家庭婦人バレー連盟も昭和四十八年設立以来、早三十六年の歴史を刻み、諸先輩方の努力やチームの皆さ

歩みの中で

名誉会長 中西 満子

瞬く間に一年が過ぎ、年のせいで身体に錆が出ている自分を実感しているこの頃です。

二十年前、いや十年前に戻りたい。もう一度、いたいと心意気だけは現役です。

「自主運営への道」を合言葉に役員諸姉と全力で努力した三十六年の間に連盟は充実の歩みを進めてきました。

かつて曾根田元審判長と二人で、雪の降る天竜市や、雪景色の天城峠を超えて伊豆の踊子を思い浮かべながら下田市へ審判講習に出向いた思い出は、今も鮮明に覚えております。

楽しい出来事あり、苦しい出来事あり、種々の思い出は私にとってみなさんの絆を結ぶもので總てに感謝致しております。

静岡県下、東から西の各市町村の教育委員会やバレーボール協会のご協力と役員の努力で、自主運営への道が開け、今日に至つて参りました。

バレーボールの世界にのめり込んだ三十六年でしたが、その間家庭に対する主婦としての責任は満点ではあります。しかし、果たしてきましたと自負しております。だからこそ主人の理解を得て三十六年間も役員活動をさせてもらえたと思つております。

今は一線を退き、大会へは気楽な立場で遊びに行かせて頂き、役員諸姉が懸命に頑張っている様子を見つけて、先輩役員の背中を見て育つてることを嬉しく思つております。

未経験な人たちが多いと心配しておりましたが、戸塚理事長を中心とした結束力により、ローソン、全国ママと二年連続の大会開催とその成功は、私など手の届かない金字塔を建てられたと心から敬服しております。

来る年度からは、その経験を生かし、組織の在り方を曲げることなく、登録チームの皆さんに喜んで頂ける連盟作りを切望致します。

幸福な人生とは

副会長 大川由美子

今年十月十五日より三日間、京都に於いて、第一回の七十歳以上の大会「おふくの部」がことぶきの部と共に開催されました。参加できることはこの上ない喜びがありました。

隣のコートはことぶきチーム、そしてその隣はおふくのチーム、観覧席で出番を待ちながら他県のチームの応援をしました。今生きているよ、今頑張っているよ、一人ひとりの命がコートの中で燃えて大きな声となり、会場いっぱいに広がりました。生涯歳相応の現役を自分なりに生きていきたいと感じました。

もはや云うところの無い人は居ないと思いますが、高齢者同志の温かい思いやり、お互いが必要とされていると感じることが、つまりは生涯現役と云える所以でしょう。バレーボールを通じてめぐり会った人たち、多くの人に支えられて生きてきた幸せを、日々感謝の心を忘れず、地域社会で自分に出来ることを、行動に移して行く努力をしたいと思います。

若かりし頃の我が夫婦のバレーボールを通しての会話は、「離縁してやつてくれ。」

あれから四十年、今我が夫婦の会話は、大会前日

と変わりました。そしてテレビといえば主人の好きな番組ではなく、一緒にグラチャンを見ております。説明するのも一苦労。でもようやくこの時が来たか、と嬉しく思います。

バレーボール、楽しんだ日々、

友は今、特養で、何想う、先輩の為にも、みんなでがんばろう。

長く樂しく

副会長 曾根田佳子

「美容と健康」のキャッチフレーズで全国組織で始まつたママさんバレーは、時流に乗つて急速に普及し、ママさん競技の代名詞となりました。

あれから三十六年、結成当時の若きママさん達は「いそじ」、「ことぶき」を経て、今年京都での「おふく」第一回全国大会に七十歳を過ぎて参加することができます。

「来し方」を想い、感慨深いものがありました。

若い時代のエネルギーのバレーは素晴らしいものですが、体力、技術も気力だけではカバーできなくなり、足腰もままならないシニアスポーツは、ともすれば勝敗だけにこだわりがちなバレーより意義深いものがあると思います。

シニアスポーツとしてのママさんバレーの持つ意義は、「これまで続けてこられた幸せ」、「まわりへの感謝」そして「この年になつてもなお、新鮮な感動を得る熱さ心」にあると考えます。それらは世間一般の日常生活では如何に得難く、尊いものが、第一、第三の人生の抛りどころと肝に銘じていいところです。

生涯スポーツの実践は、和(輪)を大切に励まし、いたわり合うこと。

これからも好きなバレーに長く関わり合つていけば、と思つてゐる日々です。



全国ママさんバレーボール大会 に携わつて

【感動をありがとうございます】

副理事長 水口みさ子

LAWSON CUP、全国ママさんと二年連続の全国大会では、たくさんのチームの皆さんや役員の方々の協力により無事終了出来ましたことを心より感謝致します。有難うございました。

私にとってLAWSON CUPは、何もわからない、知らないことだらけの始まりでした。他県で開催された同大会への視察でも、私たちの予想のほとんどが的外れで、本当に苦ししく、泣き出したい気持ちを堪えて走り回つてばかりでした。最終日に全国連盟の方からの労いを頂いた時や反省会で皆さんにお礼を申し上げた時には感極まって涙が止まりませんでした。

今年の全国ママさんでは、準備も順調に進み、不測の事態への対処の的確さには皆さんの底力を痛感しました。

全国大会視察の際、静岡代表を破った兵庫代表のそのあとの試合を応援しました。そのチームのキャラクターが全国ママさんの受付にいた私のところに駆け寄ってきて、「あの時のお礼が言いたくて、静岡での全国大会には絶対出場したい！」との思いで代表権を獲得出来た」と話してくれました。こんな感動があるのだな、こんなご褒美嬉しいな、バレーボールを続けてきて良かった！と思えた瞬間でした。全てに感謝です！有難うございました。

「全国ママさんバレーボール大会をバネに」

副理事長 捜部 裕子

昨年度はLAWSON CUP、本年度は全国ママさん大会と、二年続きの全国大会が浜松アリーナで開催されました。

各チームの皆様の力によって、静岡県家庭婦人バレーボール連盟は、連盟としてひとつにまとまつた「チームワーク」という財産をいただけた気がします。皆様の惜しみない御協力には頭が下がる思いで、心より感謝しております。

選手、応援団、大会運営に協力して下さった方々、大会を影で支えて下さった方々、沢山のパワーをいたしました。五十年代半ばの私にとりましては、またバレーボールを見直すきっかけになりましたが、またバーバーされても、白熱した試合に、本当に楽しそうに、休憩時間も省かれ、予定をオーバーされてご観覧。選手の皆さんも、妃殿下からメダルをいただくことができて、素敵な思い出になつたことでしょう。

二十二年度もまた、県の行事が数多くあります。勝負の大会、親睦の試合・・・チームの皆さんにパワーが湧いてくるよう、連盟に協力していきたいと思います。

また、皆様のご協力を引き続きよろしくお願ひします。

「ありがとうございました。お疲れ様でした。」

副理事長 栗田 美春

二十一年度の最大イベントは、八月の全国ママさんバレーボール大会でしょう。前回のLAWSON CUPとは違い、歴史のある大会、高円宮妃殿下をお迎えしてとのことで、前回とはまた違う緊張感がありました。

例年とは違ひ妃殿下が、トーナメント戦、決勝トーナメント戦をご観覧とのことで、全国連盟方にも戸惑いがあり、最後の最後まで緊張の連続でした。

高円宮妃殿下のスポーツ好きが、ハプニング続き



で、私たちは、あたふた。突然立ち上がり、中央の席から、ご自分で椅子をお持ちになつて移動を始められてしまつて、みんな大慌て・・・。表彰もコート表彰のはずが、妃殿下がメダルをかけて下さるとのこと、急遽やり方が変更。それでも何とか笑顔で対応。閉会式も妃殿下は、ご出席の予定ではなかつたはずが・・・開式直前の変更。もう裏方は大慌てでひつちやかめつちやかの表彰式、閉会式でした。妃殿下の後ろを通つて良いのかいけないのか・・・誰がどうだつけ？確認する余裕もなく終わつた感じでした。

それでも、皆さんのおかげで、無事終了。

ありがとうございました。お疲れ様。

今年は、妃殿下もトーナメント戦を観覧され、白熱した試合に、本当に楽しそうに、休憩時間も省かれ、予定をオーバーされてご観覧。選手の皆さんも、妃殿下からメダルをいただくことができて、素敵な思い出になつたことでしょう。

本当に理事の皆さん、お手伝いくださったチームの皆さん、そしてそれをご理解くださつている家族の皆さん、ありがとうございました。お疲れ様でした。

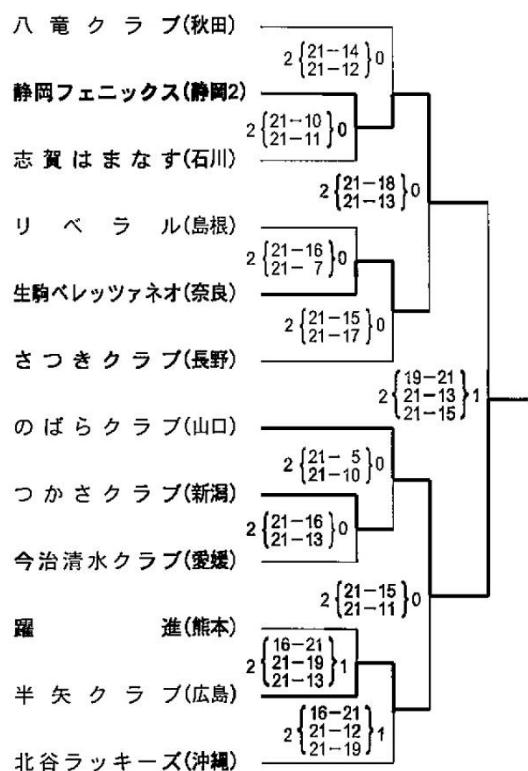
第40回記念

全国ママさん バレーボール大賞 特集号

平成21年8月6日～8月9日 浜松アリーナ

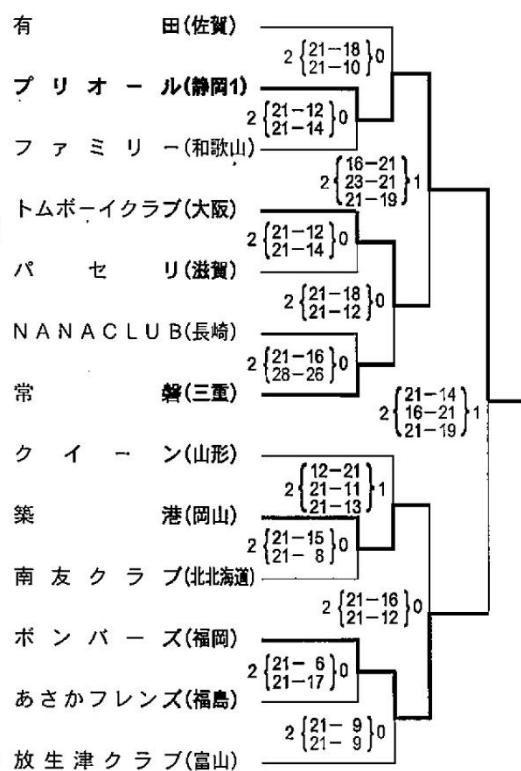
【C組 静岡フェニックス】

トーナメント戦 (8/7・8)



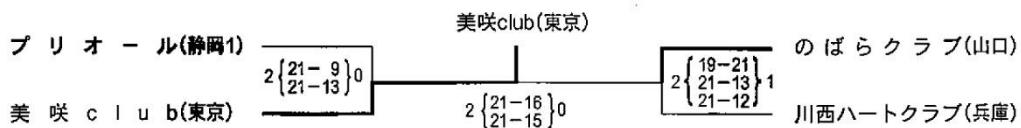
【A組 プリオール】

トーナメント戦 (8/7・8)



【総理大臣杯決定戦】

(8/9)



プリオール

プリオール			
《静岡県》			
監督/高橋 廣美	コーチ/マネジャー/深澤 春奈	12人の平均年齢/41.3歳	
番号	氏名	年齢	
身長			
①	石橋 晴美	44	167
②	種石智香子	45	171
③	上杉 博子	39	163
④	石垣 章世	45	167
⑤	遠藤美千恵子	39	165
⑥	小沼由美子	42	170
⑦	平井 弥生	45	160
⑧	長倉 美香子	36	168
⑨	山西 外岡亜希子	42	162
⑩	長島 利恵	36	155
⑪	中村美佳子	35	163
⑫		48	167



ツクスの方々や、また連盟・地元の方々の温かい応援で力を得出てA組優勝という結果を出せたことは、私にとつてバレー・ボール人生でとても大きな歓喜になりました。今まで支えてくれた家族、チームメイト、監督、協会の方々:感謝の気持ちを忘れず、これからもバレー・ボールを楽しみたいと思います。

キャブテン 長倉 弥生

今までプリオールに携わって下さった人たちの思いと共に、悔いなき試合をする事だけを目標にプレーしてきました。1点の重み・仲間の力・応援への感謝・勝利の喜び、多くの事を感じ、そして、A組優勝というご褒美まで頂きました。これから目標は、「生涯バレー」この仲間と共に:

種石智香子

一言で言えばこの道のりは長かった。何度も挑戦しても結果がでず、あきらめかけた時もありましたが、ここまで続けられたのは今いる仲間のおかげです。

まさかの静岡県代表。しかも、四十回記念の静岡大会に出場でき、チヨットだけ天狗になりそうなくらい嬉しい気持ちで試合に臨みました。今年総理大臣杯に輝いた東京。トーナメント戦で対戦した福岡・大阪などのチームも今までと違う試合内容で緊張し、試合が終われば互いのチームの栄光を称え合う気持ちの良いものでした。

この四日間、本当に楽しかった!主人に嫌味を言われなが、みんな精一杯戦いました。これからも感謝の気持ちを忘れず、バレー・ボールを楽しみたいと思います。ありがとうございました。

監督 高橋 廣美

第四十回記念全国家庭婦人バレー・ボール大会を目指して、プリオール選手一同気持ちを一つにして練習してきました。全国大会に出場するという目標を達成し、また新たに全国優勝を目指として気持ちを切り替えて臨んだ全国大会と一緒に静岡代表として出場した静岡フェニ

ママさんバレーを始めてから、一度は全国大会に出場したいと思っていました。これまでいろいろな大会に出場し、全国を狙ってきましたが、今一步のところで全国

石橋 晴美

第四十回記念大会、そして地元開催でした。今年は四十回記念大会であり、他府県のチームレベルが高く、ましてや会場が静岡県で行うということもあり、プレッシャーとの戦いでした。

しかし、昔から膝が悪く、限界にきていて、私にとつて今年度最後の試合になるかも知れないとの思いで、全力を出し切り悔いのない試合ができました。総理大臣杯は逃しましたが、このメンバーで試合に臨めたこと、A組優勝という好成績で終われたことは、私にとって一生の思い出になりました。

小沼由美子

全国ママさんバレー・ボール大会に出場する事は、プリオール発足からの夢であり、その当時のメンバーが多数いる中での出場は格別なものでした。ましてや、四十回記念大会で地元開催という事もあり、プレッシャーは有りましたが、連盟の方々の熱心な応援、手助けもあり、A組優勝という成績を残せた事を大変光栄に思います。試合を離れても、いろんな地域の方々と交流を持った事を含め、いい思い出を作る事が出来ました。これからも長くこの大会が続く事を願っています。ありがとうございました。

平井 京子

八年前の総理大臣杯の決勝のテレビ放送、当時私が所属していた埼玉県のチームが、県大会の準決勝で対戦した埼玉県の代表でした。あの時あと二点取れていたら、このテレビのコートの中にいたのは私達だったんだと…。それ以来、全国大会出場の夢を持ちバレー・ボールを続けてきました。そして、家族の協力や勤務先の上司、そして何よりもすばらしい仲間に出会えたおかげで、静岡県代表として今年全国大会へ出場する夢を一つ叶えました。この先、いそじ、ことぶき、おふくの部の全国大会出場を目指して仲間作りに励んでいきます。

中村美佳子

このタイミングに、全国大会に出場出来た事は、私にとって一生の宝物になりました。

一試合ごと涙を流し、相手チームと健闘を讃えあいながら試合が出来たのも、連盟・大会運営をして下さった皆様を始め、応援に駆け付けて下さった方々、そして家族の支え、転勤や出産や病気で出場出来なかつたメンバーの励まし、大会中元気でいてくれた子供達のおかげです。

そして、プリオールメンバー・監督・ありがとうございます。

遠藤美千恵

連盟の方々の頑張つてという熱い眼差しに励まされ、最後まで諦めないプレーをすることができました。一戦一戦が苦しくもあり、楽しくもあり、早く勝ちたいという気持ちと、緊張感のあるプレーをいつまでも続けていたいという気持ちになりました。静岡県代表として、総理大臣杯を目指し掲げ出場した全国大会でしたが、惜しくも東京に敗れ逃しはしましたが、この時の気持ちを忘れず更なる努力を続けていきたいと思います。

山西 美香

私がママさんバレーボールを始めた、まさか自分が全国大会出場できるなんて…しかもA組優勝という金メダルをもらつた時は感無量の喜びでした。控えの選手だった私は声を張り上げて応援して、いつ出場するかわからぬ緊張感が毎試合ありました。全国大会のレベルの高いプレーを見ることができ、そしてもう一度、このプリオールで全国大会に出場したいと思います。

上杉 博子

私は第四十回記念全国家庭婦人バレーボール大会を経験できて本当に良かったと思います。昨年は予選で負けてしまい、今年は気持ちを一から入れ替えて頑張つてきました。週に二回の二時間の練習では集中して行い、同じ目標をもつ仲間と共にボールを追いかけました。その結果A組優勝という成績をおさめることができました。全国大会で経験できたことは自分自身の人生の中でも貴重で素晴らしいことだと思います。これからはこの素晴らしい経験を大事にして家庭とバレーボールを頑張りたいと思います。

外岡亜希子

私にとって、二回目の全国ママ。今回はコーチという立場で参加させてもらいました。選手のメンタル面のサポートを心掛けましたが、充分にしてあげられず、申し訳なかつたと反省しています。選手達は全国の重圧にも負けず、よく戦つてくれました。この経験を胸に更に邁進していきたいと思います！

コーチ 稲口 晴美

地元開催で役員一年生という立場でもあり大変でした。多くのスタッフにより成り立っていることを強く感じました。我がチームにも規定により出場できなかつたメンバーがいますが、裏方として尽力してくれたことがとても大きな力になりました。そういうスタッフ含めた全員で掴んだ銀メダルです！

マネージャー 香村 道子

静岡フェニックス			
《静岡県》			
番号	氏名	年齢	身長
①	平井由美子	30	170
②	筑地 純子	37	159
④	横田かおり	45	161
⑦	新美由香里	44	163
⑧	松尾亞希子	30	163
⑨	奥村エリカ	44	170
⑪	望月 啓代	41	172
⑫	河合 時恵	31	158
⑬	鈴木美代子	37	158
⑭	赤堀あゆみ	31	158
⑮	江川 咲子	43	172
⑯	瀧戸 雅代	43	165

静岡フェニックス C組 準優勝

なんて綺麗なんでしょう、我がチームのラインジャッジは！出場が決まつて早々に、連盟の方々に指導していただきたお陰だと思います。当の私は講習だけで本番は見学でしたが、今回の大会に出場し、バレーボールのプレー以外の事も勉強させていただきました。

キャプテン 横田かおり

静岡に嫁いで三歳、まさか、静岡県代表で全国にいけるなんて思つてもいませんでした。子供が小さく、自分がバレーボールをやつてこれたのも、チームの皆や主人の助けがあつてこそ。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。大会は緊張しましたが、楽しくプレーすることができました。いつか、子供に話したいなあと思います。

平井由美子

とにかく、支えてくれた人たちや家族に対して、感謝の気持ちでいっぱいです。大会期間中はバレーボールで過ごす事ができ、人生において本当に貴重な時間だつたと思います。そして、同じようにバレーボールに情熱を傾けているママたちが、全國にこんなにたくさんいる事を知り、自分もその一人でいられることを、大変誇らしく感じられた素晴らしい機会でした。

筑地 純子

この大会を通じ、多くの人に支えられバレーボールができることに、改めて感謝します。チームのメンバーやスタッフ、裏方でサポートしてくれた仲間、そして家族や諸先輩方の協力や応援は本当に力になりました。結果についてはまだ勝ちたかったと悔いもありますが、ここをゴーとせずに今後も練習に励みたいと思います。

松尾亞希子

全国大会には魔物がいるよ！と聞いて臨んだ全国大会。魔物もいたけど、女神にも出会えました。全国キップを手に入れるために、予選から苦しい戦いを制することができ、晴れ舞台では一丸となれたチームメートに感謝。裏方をしてくれた仲間、応援してくれた家族や友人達すべてにありがとうございます。

奥村エリカ

今大会は開催県という事もあり、絶対勝たなければという気持ちで臨みました。緊張と不安で始まった試合。チームの仲間に支えてもらいました。最後の試合が終わつた時、負けた悔しさと自分の力不足を痛感したと共に、バレーを続けられる事を幸せと感じ、応援と協力をしてくれた家族に改めて感謝したいと思つた大会でした。

望月 啓代
全國大会の舞台は私には大きすぎる大会でした。でもそこに行く事ができたのは、監督とチームのみんながいたからです。どんなに苦しくても、どんなに緊張しても、みんながいたから「やつてやる」という気持ちになりました。この気持ちを今後のバレーに生かし、自分自身とチームがますます成長できたらと思います。

鈴木美代子

大会を支えた人々

「私の一生の中で貴重な経験」

総務委員 林あけみ（雄踏フレンズ）

【第四十回記念全国ママさんバレー・ボール大会】といふ大きな大会に、開催地と言う事で県家庭婦人連盟の方々のお手伝いに参加させて頂き、役割は全国連盟の役員の方々の接待という大役に配属されました。まず大会前日には全国各県代表の大会旗のアイロン掛けから始まり、大会一日目、私は全国連盟旗を持って入場でした。入場行進のリハーサルから皆思の合った行動が出来、本番には六人揃つて、より素晴らしい入場行進ができました。最終日には、高円宮憲仁親王妃久子殿下のおいでになる貴賓室へ緑茶、冷茶などをお出しするお手伝いでした。それはそれは毎日が大変緊張の連続でした。

最終日連盟の方のご挨拶の時には、胸にこみ上げるものがあり、とっても感動しました。私にとって一生の内にこんな経験は一度と無いと思います。この大会のおか

げで多くの人と親睦も深まりバレーを続けていて良かったです。貴重な経験を有難うございました。

「協力員として」

貴賓室接待 小柳津 幸代（西益津球趣会）

八月に浜松で開催された大会に協力員として参加させて頂き本当に感謝しております。

全国のママさん達のすばらしいプレーに感動したことはもちろんですが、コートの中で一球一球諦めず追つている母を、妻を、応援している御家族を見て、つくづくママさんプレイヤーは家族の協力なくしては成り立たないことを再確認しました。また、大会の準備・運営には大勢の方々の御苦労があつた事思います。

その大会に少しでも関わることが出来、多くの方と知り合え、本当に嬉しく思っています。貴重な体験でした。この体験を今後生かしていくなら、と思っています。ありがとうございました。

「全国ママさん」に参加して

報道控室準備 西山 博子（ラビット）

「何か、お手伝いができる…」と、仲間と一緒に二つで開会式前日から二日間、お手伝いさせていただきました。盛夏の中、汗を流しながらの裏方の仕事や何度も繰り返した開会式のリハーサルは、とても大変でしたが、他のチームの方々と交流もでき、とても有意義な時間を過ごすことができました。私は、大会の一ヶ月前にアキレス腱の手術を受けた為、思うように仕事ができず、ご迷惑をおかけしましたが、お気遣いをいただき無事に終われたこと、大変感謝しています。

躊躇しながら、お引き受けした協力員でしたが、選手も一度しか体験できないこの大会に、スタッフとして参加できたことを光栄に思います。そして、役員の皆様のご尽力に、深く感謝いたします。お疲れ様でした。

「心ひとつにして」

大会旗担当 村井 典子（沼津アヌビスクラブ）

【第四十回記念全国ママさんバレー・ボール大会】の開会式が始まります。予選を勝ち抜いた代表チームの勇士、そしてもう一つの全国大会参加者の緊張も有りました。各々の役割を担つた私たち役員です。私は大会旗と共に行進するという大役を、六人のメンバーで行います。立場は違いますが、六人は一つのチームの様な高揚感と、感謝の気持ちを感じながらの行進でした。大会旗は、私たちの統一した責任感と、感動を載せて、一機に高々と掲げられ、私はこの六人の鼓動と、温かい香りを体全體で感じる事が出来ました。この興奮はこれから始まる大会期間の序曲の様でも有り、その空気と、その時を共有します。

審判をやることになろうとは夢にも思つておりませんでした。なかなか家族にも言えないうちに全国審判講習会、東海審判講習会と参加させて頂き、他の県の方々とのレベルの違いをさまざまと見せつけられ自信をなくしていました。

ところが、当初県で一人だった審判員が急ぎよ清水さんと勝呂さんが加わり三人で参加できることになったのはとても心強かったです。

一日四試合というハードな審判でしたが、選手の皆様の真剣なプレーにより自分の集中力を失うことなく笛を吹かせて頂けたのだと思います。又、試合終了後には他の派遣審判員の方々と食事をする機会があり、交流が深まり楽しくできたこともとても良い経験でした。

最後に全国の役員の皆様、静岡県の役員の皆様、大変お世話になり有難うございました。

『第四十回記念 全国ママさんバレー・ボール大会』 派遣審判員として参加して

審判委員 加茂 弘美（二俣クラブ）

『第四十回記念 全国ママさんバレー・ボール大会』

派遣審判員として参加して

『第四十回記念 全国ママさんバレー・ボール大会』

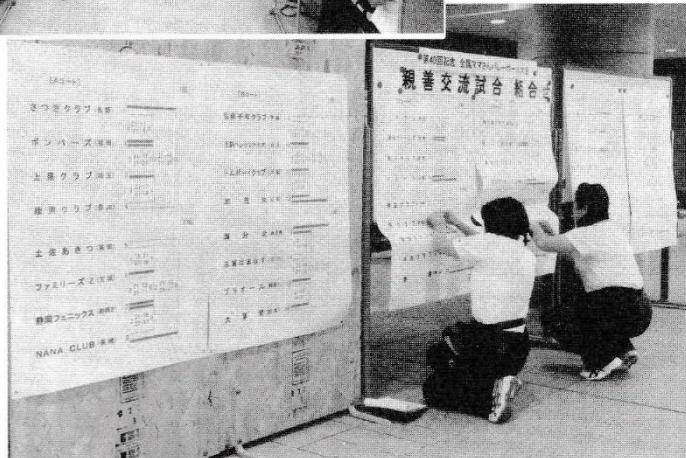
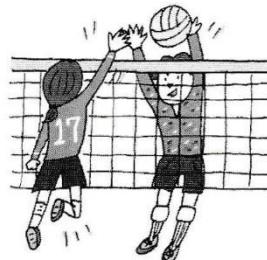
派遣審判員として参加して

* 第二十一回 全国家庭婦人バレー・ボールいざじ大会

派遣審判員

清水 勝呂 加茂
圭子 ゆかり はる美 弘美

水口 大木



* 東海ブロック審判講習会

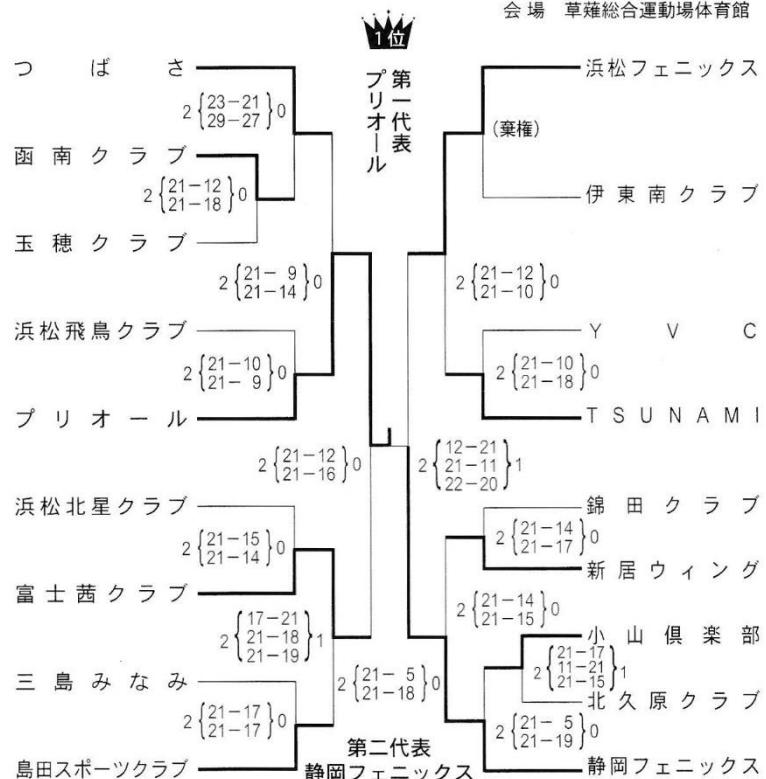
講場日時
平成二十一年六月二十一日
場所
岐阜県北方町総合体育館

講師
野口京子氏
(財)日本バレー・ボール協会

公認講師

第40回記念 全国ママさんバレーボール大会静岡県予選大会

期日 平成21年5月31日(日)
会場 草薙総合運動場体育館



コカ・コーラ セントラルジャパンカップ

第33回 静岡県家庭婦人バレーボール大会

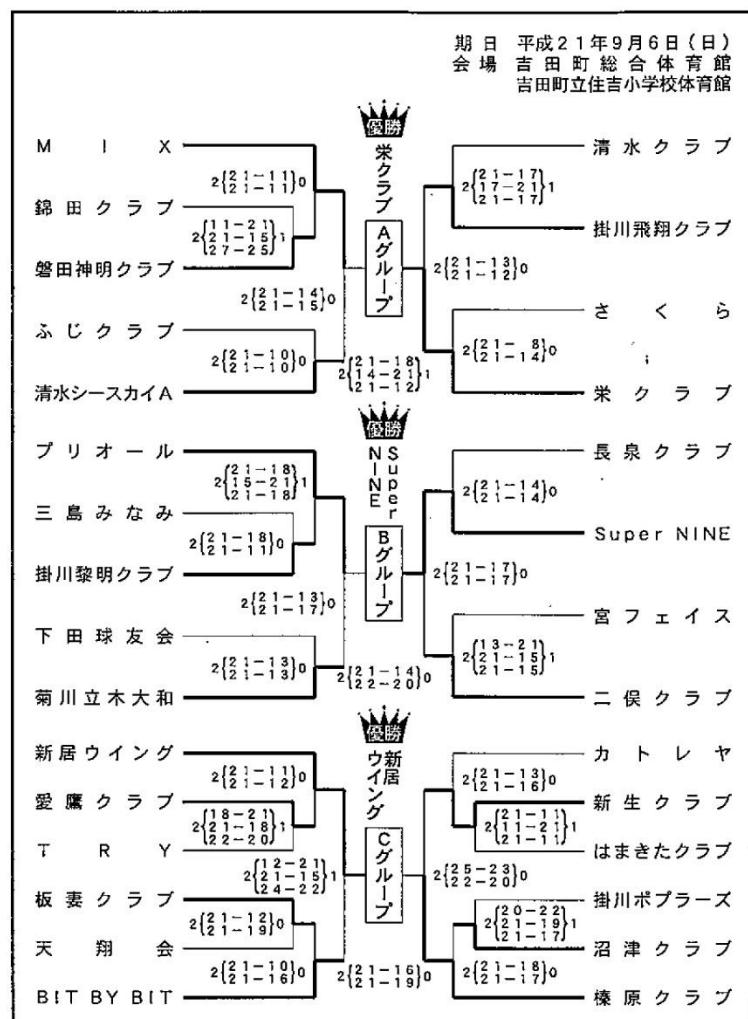
コカ・コーラ セントラルジャパン カップに
ふじクラブ 田代 幸子
コカ・コーラ A グループ A テレビ中継と
いうイメージで繋がっている大会。今年も A
グループに残るぞ! 県大会に絶対行くぞ! と
いうチームの目的を一つにして試合に臨んだ。
というものの: 実は (A グループ) に残
ればと、堅実な気持ちが強く、まさか東
部の決勝までいくとは予想していなかった。
そんな無欲で、一戦一戦全力投球。何より勝
ち進むつて楽しいな! と実感もでき、実のあ
る大会だった。

ふじクラブ 田代 幸子
S U P E R N I N E 相田 初江
東部地区予選決勝での結果・県大会での自
分たちのバレーが思うようにできないはがゆ
さと、課題は多々あるわがチーム。しかし、
来年も A グループで勝負できる自信を胸に、
中部西部のチームと一戦でも多く戦う: とい
う大きな目標をもつて、一歩ずつ前進してい
きたいと思つた。

昨年は結果が残せず悔しい思いをしました。
今年は一致団結をスローガンにチームの立て
直しをした結果、結成十年の節目に県大会に
返り咲き、B グループで優勝することができ
て本当に嬉しかったです。

チーム一人ひとりの努力の延長線上に優勝というご褒
美があり、仲間達と喜びを分かち合えたことが何よりう
れしく、幸せに感じました。

バレーが大好きな、素晴らしい仲間達とプレー出来る
のも、家族の協力、理解あってのことだと感謝の気持ち
を忘れずに、これからも頑張り続けていきたいと思います。



「県大会へ出場が決まり!」その時点から、メンバーの
気持ちにスイッチが入ったように感じました。みんなが
高いモチベーションを持つて練習を行ってくれました。
私たちのクラブは一時期メンバーが減り、試合になか
なか出場できず、県登録も見合わせなければならない状
態でした。一年かけメンバーを集め、再び県登録させて
頂き、徐々に試合に出場できるようになり、今年のこの
大会を迎えることができました。

結果、C グループ 3 位に入賞できた事はとても嬉しく
思います。今年はクラブ創立 30 周年という記念の年でも
あり、喜びもひとしおです。

来年に向けて、またメンバーを集めるところから始め
なければならぬ状況ではありますが、常に前向きにみ
んなで乗り越え、鍛え上げてコカ・コーラセントラルジ
ャパンカップへ戻ってきます。

新居ウイング 名倉 知美

コカ・コーラセントラルジャパンカップへ数年ぶりに
参加することができました。ここ数年間は、ケガや病気、
家庭の事情による人員不足で参加することができまし
でした。

しかし、「絶対負けない」、「勝ち上がりたい」とい
う思いを胸に、厳しい時期も練習を積み重ねてきました。
出場できる人数が揃った今年、個々に持ち続けてきた思
いはすぐに一つになり、チーム一丸となつて挑み、県大
会出場権を手にし、C グループ初優勝することが出来ま
した。

チーム一人ひとりの努力の延長線上に優勝というご褒
美があり、仲間達と喜びを分かち合えたことが何よりう
れしく、幸せに感じました。

バレーが大好きな、素晴らしい仲間達とプレー出来る
のも、家族の協力、理解あってのことだと感謝の気持ち
を忘れずに、これからも頑張り続けていきたいと思います。

『特別賞受賞者紹介』

東部地区	下田球友会	山下 千興子
中部地区	住吉クラブ	三輪 美由紀
西部地区	掛川ポーラーズ	戸塚 美代子

ありがとうございました。好きなバレーボールをしていて賞をもらえるとは思ってもいませんでした。私がママさんバレーを始めて何年になつたのか時の過ぎるのは早いものです。県に登録してから四十年近くになるのではないでしょか。コカコーラの大会が行われるようになつてから毎年C→B、B→Aと仲間と頑張ってきました。一年はあつという間に過ぎ、気が付いてみれば七十歳、この特別賞ははずーと一緒に泣いたり笑つたりいたわり合つたりしてきた七人でいただいた賞だと思います。いそじ大会、ことぶき大会と全国大会にも行くことができて楽しいバレーボール人生を送つてきました。これらも身体に気をつけて元気に続けていきたいと思います。

(山下)

特別賞のお話を頂き信じられませんでした。これまでバレーを人生の友として、家庭と仕事の時間をやりくりして大好きなバレーに打ち込んできました。続けてこられたのも家族と支えてくれた仲間達のおかげです。

振り返れば、住吉クラブに入部して早四十年、先輩から受け継いだクラブをいつか夢の舞台へ、との思いでチームメイトと無我夢中で歩んできました。第三十八回全国ママさんで実力以上の力を發揮して三位になり、「成せば成る」の言葉を実感し、大きな感動を貰いました。未熟な私を暖かく見守つてくださった連盟の皆様方、有難うございました。

また、秋桜のチームで先輩達とプレーが出来る喜びを感じ、これもひとえに生涯スポーツの場を与えて下さった役員の皆様のお陰と、感謝申し上げますと共にコカ・コラセントラルジャパン様、人生最高の賞と勇気を頂き本当にありがとうございました。健康である限りバレーの楽しさを伝えて行きたいと思います。

(三輪)

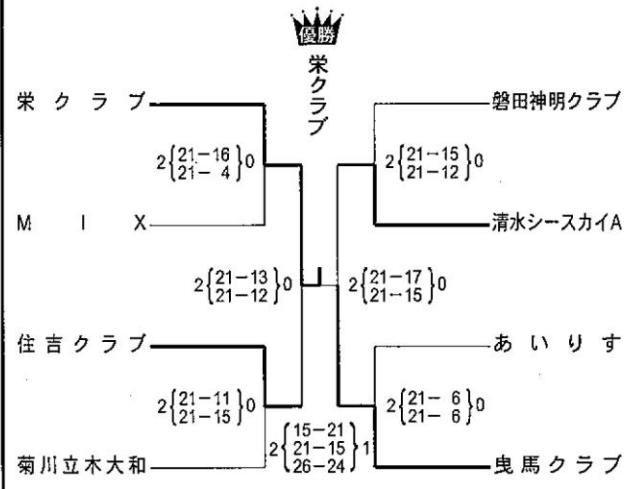
TOKAI朝霧のしづくカップ

バレーボール優勝大会

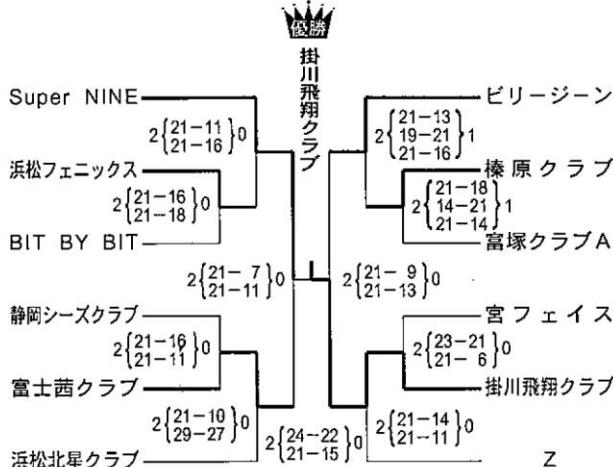
平成二十一年四月五日

静岡県武道館
藤枝市民体育館

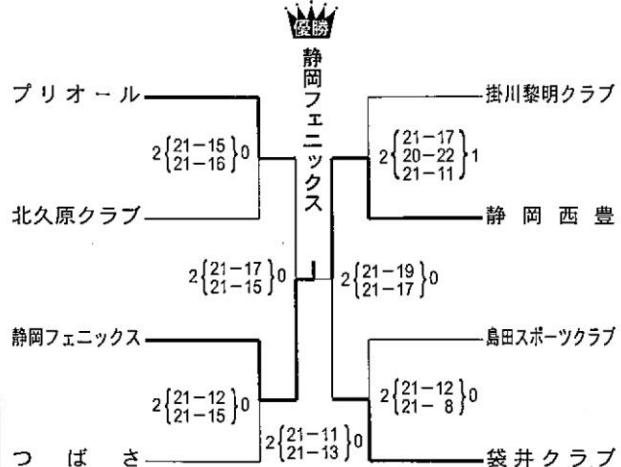
Aグループ



Cグループ



Bグループ



エーエフシーカップ 静岡県家庭婦人バレーボール選手権大会

期日 平成21年11月1日(日)
会場 草薙総合運動場体育館

《エーエフシーカップに参加して》

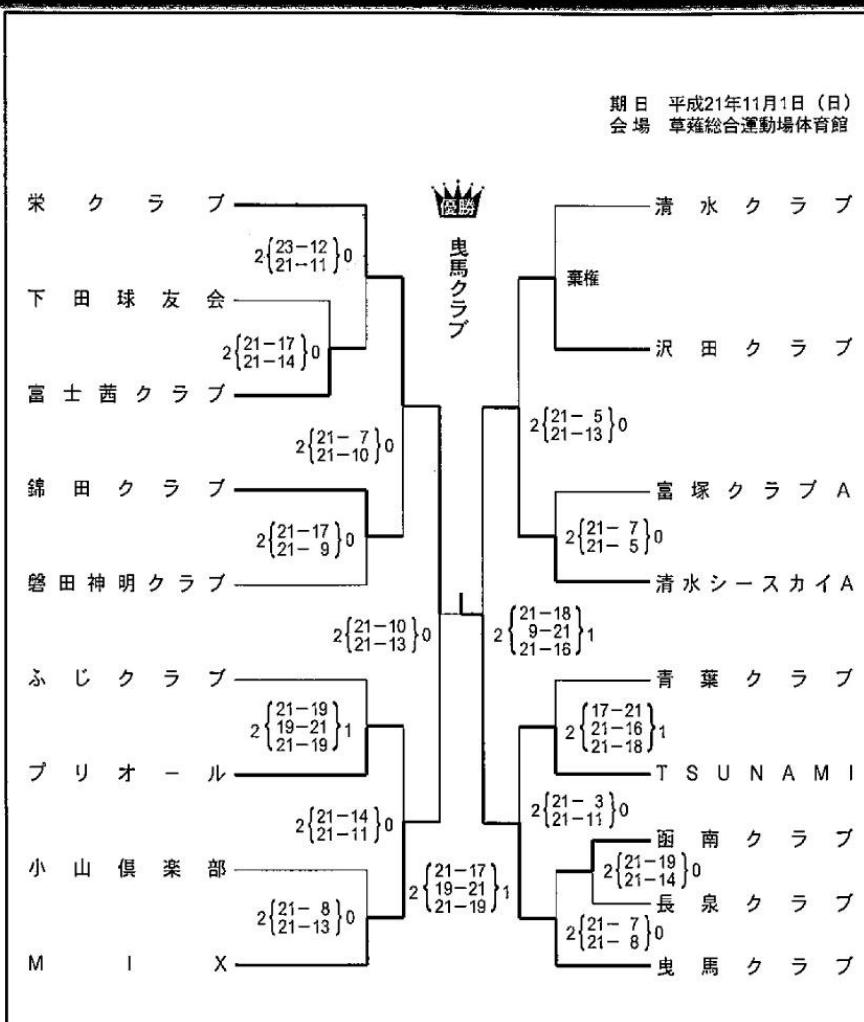
錦田クラブ 小針美夕紀

県大会への出場はあるものの初戦敗退を繰り返してきた。今回の県大会初戦の相手は前回対戦して負けている磐田神明クラブでした。いつも会場の雰囲気にのまれ、思うようにプレーをさせてもらえませんでしたが、栄クラブと対戦したいと一勝を目指し粘り強いプレーができました。

栄クラブとの対戦は、胸を借りるつもりで「自分たちのプレーをしよう」と挑みました。

青葉クラブ 北川奈々子

結果は(0-2)で負けましたが、第1セットの点数は1桁。1セットよりも得点を多く取ることを目標に挑んだ第2セット。得点二桁、目標達成。対戦を終わりさわやかな思いが残りました。平均年齢〇〇才ではあります
が、チームワークは抜群です。スピードのあるチームと対戦して得たことを今後の練習に生かし、これからも頑張っていきます。



今年のチーム目標の一つであった県大会出場。今年は春からチームの調子に波があり、この大会の直前も調子が上がらず、監督から喝を入れられるような状態でした。しかしその喝が効いたのか、チームワークで何とか掴んだ県大会への切符。県大会では自分達のプレーが出来ないまま初戦敗退となり、とても残念でしたが、今のチームに何が足りないのか、根本からみんなで考え直す良いきっかけとなつた試合だったと思います。

主人の転勤で浜松に来て六年目になりますが、好きなバレーボールを通じて知り合った仲間と一緒にプレーできる幸せと感謝を感じています。これからも楽しく、また厳しく、チーム全員気持ちを一つにして、少しでもレベルアップしていきたい。そして来年もまた草薙に行きたいと思っています。

富塚クラブA 関根恵

今年のチーム目標の一つであった県大会出場。今年は春からチームの調子に波があり、この大会の直前も調子が上がらず、監督から喝を入れられるような状態でした。しかしその喝が効いたのか、チームワークで何とか掴んだ県大会への切符。県大会では自分達のプレーが出来ないまま初戦敗退となり、とても残念でしたが、今のチームに何が足りないのか、根本からみんなで考え直す良いきっかけとなつた試合だったと思います。

主人の転勤で浜松に来て六年目になりますが、好きなバレーボールを通じて知り合った仲間と一緒にプレーできる幸せと感謝を感じています。これからも楽しく、また厳しく、チーム全員気持ちを一つにして、少しでもレベルアップしていきたい。そして来年もまた草薙に行きたいと思っています。

第5回 LAWSON CUP 静岡県予選大会 二度目の挑戦 !! 鬼馬クラブ

『全国大会にむけて』

鬼馬クラブ 新木 理子

一昨年に続き、再度の全国挑戦。チーム力を上げ、より高いレベルを目指す為に、このLAWSON CUPへの出場は、大きな目標となり得るものであります。私達も、春から積み立てを始め、北海道を合言葉に励んできました。日々進化している家庭婦人バレー。全国の九人制バレーを体感できることを楽しみにしています。そして株式会社ローソン様をはじめ、地区予選、県予選、本戦と大会運営にご尽力くださっている役員の皆様に感謝申上げます。ありがとうございます。

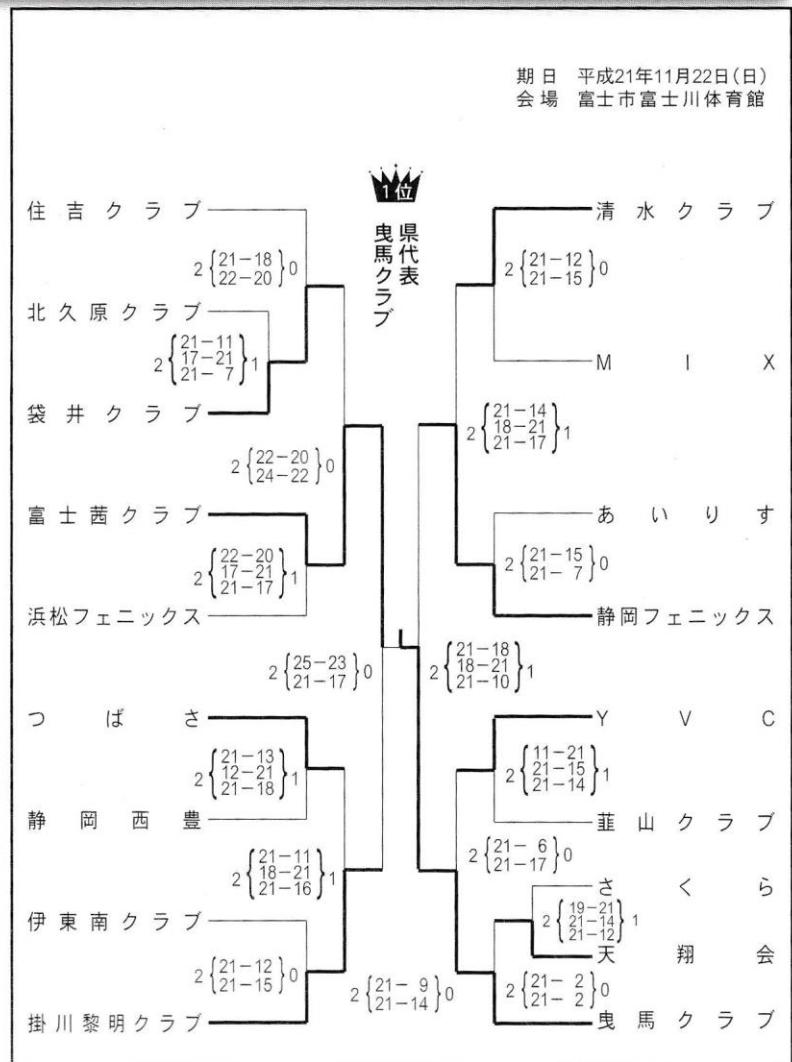


★★★ 全国大会 ★★★

3月25日~28日
札幌市
北海道立総合体育センター



期日 平成21年11月22日(日)
会場 富士市富士川体育馆



チーム結成十年の節目の年に、県大会の決勝まで駒を進める事ができました。チーム創設時の指導者の亡き後、自分達だけでチーム作りをしてきました。故障者、家庭の事情等、チーム状態が万全ではない中の試合でしたが、選手・ベンチスタッフ、また参加できなかつたメンバー全てでの全員バレーができたと思います。全国大会まであと一步での敗戦でしたが、これからチーム作りの課題、また、目標もはつきりと見えた試合でした。

「家族に感謝」「練習は嘘をつかない」の創部時からの合い言葉と、「厳しい中でもみんなで気持ちを合わせて楽しいバレーを」の初心を忘れずに次の目標に向かってみんなでボールを追いかけます！

『LAWSON CUPに出場して』

富士西クラブ 川村美佳子

世界にはばたけ！ママさんバレー 第4回 LAWSON CUP 大会結果報告

平成21年3月26～29日
グリーンアリーナ神戸

【全国大会に参加して】

グループ戦二日目。第3戦終了の笛と同時に涙が溢れた。一日目2戦2勝したもののグループ戦結果を見ると4戦全勝しなければ決勝トーナメントに行けそうにない。中でも第3戦目、宮崎県「さつき」との試合が一番の難関だと思っていた。結果は2-1、「繋がつた！」思わず涙を流してしまった。私の顔を見たメンバーは「たえさん、まだ早いよ！もう1試合！」と。そして第4戦目、やはりここまで全勝の滋賀県「エンゼル」。しかし皆の集中力は漣かつた。2-0で快勝「ベスト8だ」、今度は全員で涙を流して喜んだ。代表に決まってから四ヶ月、チームが一丸となつた。週一回の練習を2回、3回へ。草薙体育馆を何度も借り、大きな体育馆に慣れるよ

うにした。他チームの協力もいただき、毎週のように練習試合ができました。役員の皆さんにも審判の指導や力強い応援をいただきました。応援に応えたいという想いは勝ちへの気持ちを更に強くしてくれました。だからこそ出せた結果です。最後に準々決勝で兵庫県「学文クラブ」に1-2で負けた時は本当に悔しかった。しかし誰一人弱音を吐くことなく頑張ってこれた事、悔しい思いをした事、すべてが宝物でこれからシースカイを強くしてくれるのだと思います。

清水シースカイAに出会い、全国大会出場ができました。大阪の友人もこの大会に出場しており、バレーよりも昔話に花が咲いてしまいました。全国大会という素晴らしい経験ができ楽しかったです。ありがとうございます。また全国大会にチャレンジしたいです。

深澤 貴子

「みんな、本当にありがとうございました！まだまだがんばろ～ね」最後に、大会を運営してくださった皆様、支えてくださった多くの皆様へ「ありがとうございました！」と。そして第4戦目、やはりここまで全勝の滋賀県「エンゼル」。しかし皆の集中力は漣かつた。2-0で快勝「ベスト8だ」、今度は全員で涙を流して喜んだ。代表に決まってから四ヶ月、チームが一丸となつた。週一回の練習を2回、3回へ。草薙体育馆を何度も借り、大きな体育馆に慣れるよ

監督 望月 多枝子

子供が春休みなのをいいことに、家庭も仕事もそつちの内で参加させてもらった全国大会。お財布をなくしがけたり、体調を崩した人もいました。試合では楽しい思い出も、悔しい思いもしましたが、いい思い出ばかりが残っています。本当にいい仲間に恵まれて幸せです。

高橋 千春

【グループ戦（3/27～3/28）】

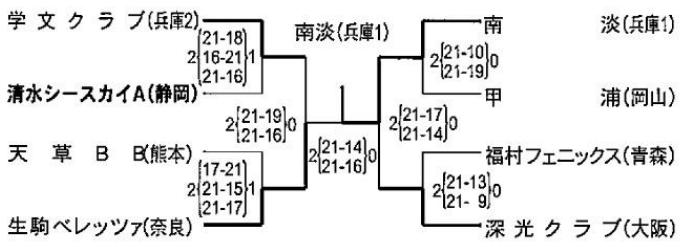
【7組】 中央体育馆

清水シースカイA(静岡)	2 [21-10] 0
福生ビリーブ(鳥取)	2 [21-14] 0
さつき(宮崎)	2 [21-17] 0
スタートス(長崎)	2 [21-16] 1
エンゼル(滋賀)	2 [21-15] 0
中新田クラブ(宮城)	2 [21-10] 0
	2 [21-8] 0
	2 [22-20] 0

【7組】 メインアリーナ

さつき(宮崎)	2 [21-14] 1
清水シースカイA(静岡)	2 [21-15] 0
エンゼル(滋賀)	2 [21-15] 0
福生ビリーブ(鳥取)	2 [21-8] 0
スタートス(長崎)	2 [21-17] 0
中新田クラブ(宮城)	2 [21-9] 0
	2 [21-13] 0

【決勝トーナメント（3/29）】



全国大会に出場する事によって、チーム全体が引き締まり、より一層プレーに対する意識が高まつたと思いました。バレーにだけ一生懸命の四日間。家族に会社の方々に、サポートに来て下さった方々に、チームメイトばかりになりました。このLAWSON CUPというすごい出になりました。この大会がいつまでも続く事を願っています。そして、また全国大会にチャレンジしたいです。

宮原 洋子

全国大会への出場が決まってから、ベスト8という結果で全てが終わり家にたどり着くまでの約四ヶ月間。貴重でかけがえのない大切な時間となりました。チーム全員で話をし、練習をして長い時間行動を共にして楽しい、嬉しい、悔しい全ての思いをチームのみんなと共に感謝出来た事は本当に幸せでした。家族や協会の方々や大会に携わつて下さった方皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。そして、私をいろんな面で支えてくれたチームのみんなにも感謝です！ ありがとうございました！

キヤブテン 石川 好美

勝つためにチームのために、一人一人が何をすべきかを考え、そしてみんなで楽しもうと望んだLAWSON CUP・体いっぱいで喜び、そして悔しさいっぱいの涙を流したこの大会は私にとって一生の宝物となりました。

そんな私たちを支えてくれたスタッフ、そして家族に感謝の気持ちでいっぱいです。

森下 裕子

バレーボールを初めて二十五年！夢にまで見た全国大会へ出場できて、言葉にできないくらいの喜びを感じました。開会式から前夜祭まで、家族とともに満喫しました。大舞台でママが頑張っている姿を、娘と息子に見せてあげることができ、「次は連れて行つてね」と約束しました。まだまだ楽しみが続きます。

坪口 香織

接戦の末、勝ったチームに「とても楽しい試合でした」と声をかけて頂き、感動。楽しみながら勝つバレーボールが出来たのは、このメンバーだったから。今度は、目指せ全国ベスト4。その前に、まずは全国切符を手にするぞ！

池ヶ谷陽子

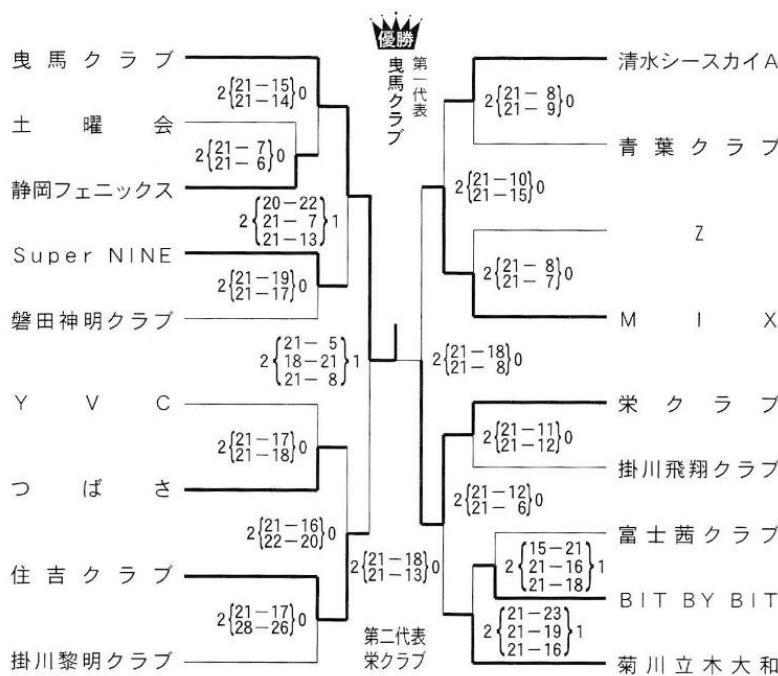
念願の全国大会！大好きなバレーボールができ、うれし涙、悔し涙を大好きな仲間たちと一緒に流せたこと本当に最高でした！家族、チームのみんなに感謝です。もっとバレーボールがやりたい、上手くなりたいと強く感じた大会でした。

千葉裕美子



第36回東海家庭婦人バレーボール大会 静岡県予選

期日 平成21年9月27日(日)
会場 藤枝市民体育館



私にとっては初めての全国大会で、緊張と興奮でしたががとても楽しい四日間でした。結果はみんなで悔し涙を流すことになりましたが、一緒に笑って、一緒に泣いたこのシースカイの仲間でいることを改めて幸せに思いました。また協力してくれた方々や家族にも感謝の気持ちでいっぱいです。次は勝者の涙を流したいですっ！

大村 佐織

第三十六回
東海家庭婦人バレーボール大会

十月十八日 藤枝市 静岡県武道館

『成績』

準優勝 栄クラブ
第三位 岩馬クラブ
第四位 つばさ

シニアの活躍

「おこしゃす 京へ」

第十四回全国家庭婦人バレー ボールことぶき大会
【開催日】 平成二十一年十月十五日～十七日

【会場】 京都府立体育館
【出場チーム】 静岡ビーナス

ごてんばふじ
静岡（おふくの部）

第十二回東海家庭婦人バレー ボールことぶき大会
【開催日】 平成二十一年八月三十日

【会場】 岐阜県中津川市東美濃
【出場チーム】 伊豆球友会 沼津スターレビー
アザレア 静岡ボラリス
湯々あたみ 秋桜 和

ふれあいセンター

「美まし国 三重」伊勢に集う

第二十一回全国家庭婦人バレー ボールいそじ大会

【開催日】 平成二十一年十一月十三日～十五日
【会場】 三重県サンアリーナ
三重県営総合競技場

【出場チーム】 栄 is g

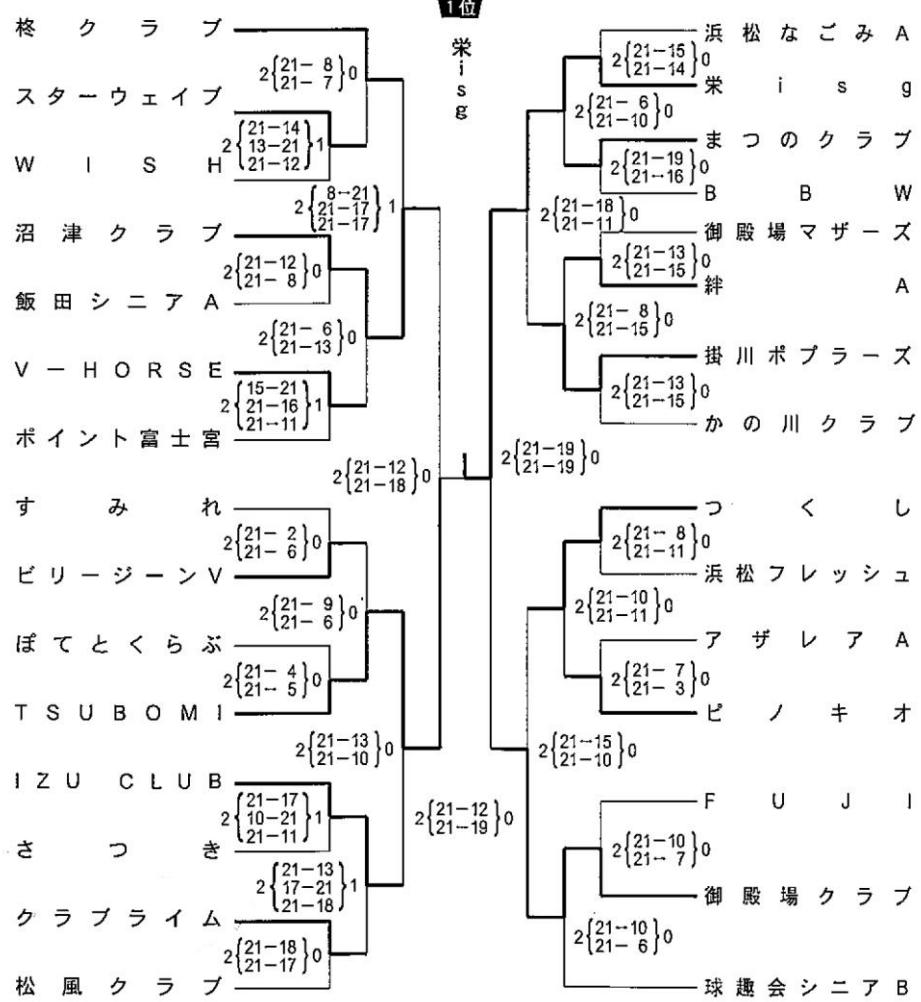
第十七回 東海家庭婦人バレー ボールいそじ大会
【開催日】 平成二十一年十月二十四日

【会場】 愛知県 常滑市体育館
三重県営総合競技場

【出場チーム】 静岡あおいクラブ 和楽
静岡クラブC 静岡クラブD

第二十二回 全国家庭婦人バレー ボールいそじ大会

平成二十一年六月六日 吉田町総合体育館
藤枝労働者体育館

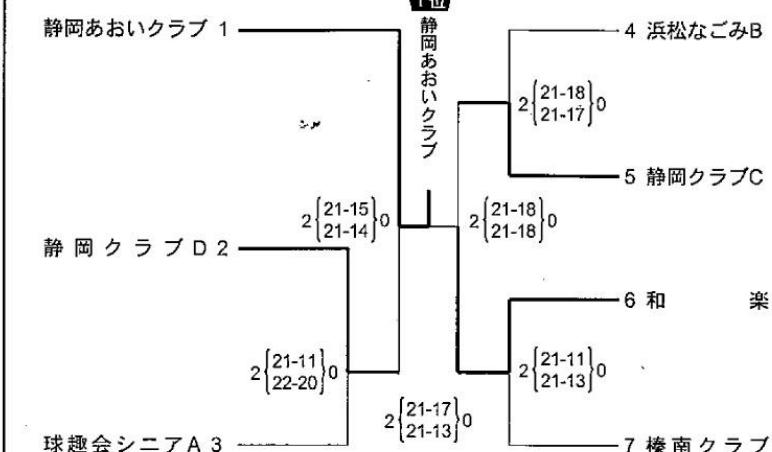


第十七回東海家庭婦人バレー ボール大会

平成二十一年六月六日

静岡県予選会

期日 平成21年6月6日(土)
会場 藤枝労働者体育館



主催 ・ 後援 ・ 協賛各社 平成二十一年度	TOKAI 朝霧のしずくカップ 静岡県家庭婦人バレー ボール 優勝大会	(株) TOKAI 静岡朝日テレビ サッポロビール(株)東海北陸本部静岡支社
	第40回記念 全国ママさんバレー ボール 大会 静岡県予選	朝日新聞静岡総局 静岡朝日テレビ (財) 静岡県体育協会 静岡県教育委員会
	コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ 第33回 静岡県家庭婦人バレー ボール 大会	コカ・コーラ セントラル ジャパン(株) テレビ静岡 産経新聞社静岡支局 中日新聞東海本社 静岡リビング新聞社 静岡県教育委員会
	エーエフシーカップ 第35回 静岡県家庭婦人バレー ボール 選手権大会	(株) エーエフシー 静岡朝日テレビ 日刊スポーツ新聞社 朝日新聞静岡総局 静岡県教育委員会
	第5回 LAWSON CUP 静岡県予選大会	(株) ローソン 朝日新聞静岡総局 静岡県教育委員会

これまでどれくらいの借りを作ってきたのでしょうか?
どれくらい人の役に立ったのでしょうか?
(私はひき算したら完全にマイナス
連盟だよりの作成にあたり、多くの方のお世話になつたことを実感。
御協力下さいました方々にお礼申しあげます。

(鈴木 くに江
記)

※※編集後記※※
永六輔

◆◆新規登録チーム紹介◆◆	
★東部	● 御殿場クラブ(御殿場市) ● KOIZUMI 5(富士宮市) ● Gold Time(小山町)
★西部	● 浜松フェニックス(浜松市) ● SPEED(浜松市) ● 新居ウイング(新居町)
《いそじ》	● ぱてとくらぶ(伊豆の国市) ● 栄isg(焼津市) ● 浜松なごみB(浜松市)
《ごとぶき》	● 三島シワーズB(三島市) ● 楓(富士市) ● 浜松なごみ(浜松市)